

田中小児童に届けようと、力強い太鼓の音色を響かせる鶴尾小児童—高松市松並町、鶴尾小



和太鼓で交流深めたよ 鶴尾小と田中小児童

日頃、学校活動の中で和太鼓演奏に取り組んでいる鶴尾小学校(高松市松並町)と田中小学校(三木町田中)の6年生が、オンラインで

オンラインで 学校の紹介も

交流した。児童たちは互いに太鼓の演奏や学校の特色などを発表し合い、交流を深めた。

鶴尾小では毎年6年生が

総合的な活動の一環で太鼓の演奏に取り組み、市主催の行事や地域のイベントなどで発表。田中小では3年生から太鼓の練習を始め、3～6年生がそれぞれ文化祭や地域行事などで練習成果を披露している。

特色ある教育活動として和太鼓の演奏に取り組む学校同士の交流機会をつくらうと、鶴尾小の提案で初めて交流会を企画した。

昨年12月15日にあった交流会では、互いに学校の特

色や自慢などを紹介した後、太鼓の演奏を発表。児童たちはそれぞれ学校に受け継がれている伝統曲などを披露し、力強い音色を響かせた。

鶴尾小の藤本蓮君(12)は「太鼓の構成が違うので、鶴尾小とは音の響きが異なり、違った良さを感じた」とにっこり。田中小の多田陽向君(12)は「交流できて楽しかった。次は実際に会って、一緒に太鼓の演奏を試してみたい」と語った。

